



営農ウィークリーNEWS

2024年度京おくら出荷目合わせ会開催



6月18日(火)本店4階にて栽培技術の向上や生産者相互の交流、出荷規格の統一を図ることを目的として、京おくら目合わせ会が開催されました。40名を超える出席者となり「京おくら」の注目の高さが伺えました。

規格の確認では、生産者と市場や関係機関で積極的な意見交換が行われ、京おくらの拡大に向け前向きな議論が交わされました。

●報告をいただいた皆様



京都青果合同株式会社
京野菜部 係長 安田康二 氏



京都南部青果株式会社
近郷野菜部 課長 東陽一 氏



全農京都府本部
農畜産部 園芸課 和田直樹 氏



京都乙訓農業改良普及センター
技師 栗田秀樹 氏



京都乙訓農業改良普及センター
主任 清水里紗 氏



京都市産業観光局農林振興室
農林企画課 振興係長 清水岳敏 氏

—TAC information—

久多地域巡回



6月11日(火)、京都市の最北端地域となる左京区久多地域で2022年から新たに栽培を開始した京都限定の酒造用原料米「京の輝き」栽培ほ場で生育調査を行いました。現在のところ順調に生育しておりました。



農林水産省より令和6年度病虫害発生予報第3号が発表されました。

水田の観察を行い、適期に防除を実施しましょう

水稲

水稲で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稲	イネミズゾウムシ	北陸、四国、北九州	北東北、東海、近畿、中国
	いもち病	近畿、四国	東海、北九州
	ニカメイガ	北陸	北関東、東海
	縞葉枯病 (ヒメトビウンカ)	南関東、近畿	北関東、東海、四国
	斑点米カメムシ類	北東北、北陸、四国	南東北、東海

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**斑点米カメムシ類**の発生が、北東北、北陸及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は、多くの種が水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。被害の程度は、出穂期、水田への本虫の侵入量、カメムシの発生種の構成等によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、適期に防除を実施してください。

また、本虫の発生量を抑制するため、水田畦畔の適切な雑草管理を実施してください。

・**イネカメムシ**は、斑点米だけでなく、不稔被害も引き起こす斑点米カメムシ類の一種であり、近年、発生の増加や減収被害が報告されています。本虫は、他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、穂揃い期以降ではなく、出穂期に防除することが重要です。今後、本虫が活発に活動する時期を迎えますので、本虫の発生が増加傾向にある地域では、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場での発生状況を注視し、収量の確保に向け、効果の高い薬剤による出穂期の防除の実施を検討してください。

○向こう1か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・水稲では、斑点米カメムシ類の発生が、北東北、北陸及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・麦では、赤かび病の発生が、関東、甲信、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・野菜では、オオタバコガの発生が、南東北、関東、北陸、東海、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・果樹カメムシ類の発生が、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、なしのシンクイムシ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。